

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	御伽草子の想像力		
英文授業科目名	The Imagination of Otogi-Zohshi		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	5、7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>室町時代から江戸時代の初期にかけて作られた「御伽草子」を読みながら、日本人の想像力について考えを深める。</p> <p>浦島太郎・一寸法師・酒呑童子・鉢かづきなど、荒唐無稽なヒーロー・ヒロインたちの物語は、どのような「日本人のイマジネーション」の爆発だったのか。それが、現代の日本文化に示唆するものは、何か。</p> <p>昔の物語を読むことで、今の文化を相対化する視点を獲得してほしい。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>特に、なし。</p> <p>ただし、受講希望者が多数の場合には、「文学A」「文学B」の受講者を優先する。</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>特に、なし。</p> <p>ただし、「文学A」「文学B」を受講しておけば、より深く、より楽しく学ぶことができよう。</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

【教科書等】

教科書は、使わない。

毎時間、プリントを配布する。

【授業内容とその進め方】

例年、6～8の作品を読み進めている。

最初の5回程度は、講義者が有名な御伽草子の作品をレクチャーするので、諸君は「御伽草子」に対するイメージを具体化してほしい。

残りの10回くらいは、担当者を決めて、担当部分の物語を音読し、解説し、自分のコメントを述べてもらう。

御伽草子は、いわゆる「古典」ではあるが、大変に平易な文章で書かれているので、誰でも読める。「古典嫌い」あるいは「古典の読まず嫌い」の学生でも、十分に理解可能であるので、安心して受講してもらいたい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席重視。

学期末には、少し長めのレポートを提出してもらう。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

わが国を代表する「昔話」のほとんどは、御伽草子に含まれます。

その代表作は、今でも、血湧き肉躍る内容です。

恋と、ライバルとの戦いと、芸道の鍛錬。これが、御伽草子の柱です。今でも、変わっていないのではないですか。

「昔話」の「新しさ」をわかってもらいたいと思います。

【その他】